就職活動

# 企業が求める人材

【目的】

☑ 採用担当者が採用時に重視していることを知る

☑ 企業が求める人材に近づくためにどんな取り組みができるかを考える

主なワークの種類

個人ワーク　グループワーク

受講日：

氏　名：

COPYRIGHT © LITALICO Inc. ALL RIGHTS RESERVED.
LITALICO 仕事ナビ事業所運営サポートパックをご契約の事業所以外での使用や転載、改変を禁止します。

# 企業が求める人材

## 見てみよう

企業の採用担当者は、採用を検討する際、どのようなことを考えているのでしょうか。
採用担当者の声を見てみましょう。

### 採用担当者のAさん

働く意欲のある方は、仕事にも前向きな姿勢の方が多く、
私たちもそんな方に仕事を任せたいと思います。
私たちは「一緒に働きたい」と感じるような人を採用したいです。

### 採用担当者のBさん

面接で志望動機を聞くと「一般事務職を希望しているので応募しました」
とだけ言われることも多く、当社で働く意欲が感じられないことがあります。
これだと当社の何を魅力に思って、どうして当社で働きたいかが伝わってきません。

### 採用担当者のCさん

意欲があると、入社後も活躍してくれるイメージが持てます。
当社に入社したいという意欲があれば、
入社後もその方なりの活躍を期待できると思うため、
面接では「本当に当社に入社したいと思っているか」をよく見ます。

### 採用担当者のＤさん

もちろん障害特性上、難しい場合は配慮の検討をしますが、
分からないことを質問したり、困ったことを相談したりすることができる方だと
よりよいと考えます。

### 採用担当者のＥさん

勤怠が安定していることはもちろん、体調管理ができている人が大前提です。
業務のスキルは、働きながら少しずつ覚えてもらえればよいと思っています。

▼

## 企業は、どんな人材を求めているのでしょうか？

## 1 企業が求める人材像の優先順位

下の図は、実際に企業が求める人材像として、
採用担当者の声を多いものから並べたものです。内容を確認してみましょう。

### 1. 働く意欲

就労への意欲・作業意欲・働くことへの目的や動機　など

### 2. 人柄・コミュニケーションスキル

一緒に働きたいと思える人柄、

コミュニケーションスキル　など

### 3. 体調のコンディション

疾病や障害の安定度、ストレス対処力、持久力　など

### 4. ビジネススキル・ビジネスマナー

言葉遣い、報告・連絡・相談、
電話応対、PC 基礎スキル　など

### 5. 業務スキル・資格

それぞれの業務ごとの専門性、持っている資格　など

特に、採用担当者が重視しているのは、
「働く意欲」、「人柄・コミュニケーションスキル」、「体調のコンディション」、
という結果となっています。

また、「ビジネススキル・ビジネスマナー」と「業務スキル・資格」は
「働きながら身につけてもよい」という考えの採用担当者が多い傾向にありました。

## 2 企業が求める人材に近づくために

左のページで確認した「企業が求める人材像の優先順位」から、
「働く意欲」、「人柄・コミュニケーションスキル」、「体調のコンディション」は
ベースのスキルであることが分かりました。
これらのスキルは、就労支援事業所の中でも高めることができます。

もちろん、求める人材像については企業により様々な考え方があるため、
「ビジネススキル・ビジネスマナー」や、「業務スキル・資格」が
重要でないというわけではありません。
どれも大切なスキルであると知った上で、スキル向上のための取り組みを考え、
１つずつ実行していきましょう。

# グループワーク

それぞれのスキルを高めるために、どんな取り組みができるかを意見交換し、
下のワークシートに記入しましょう。

① 日常生活でできることや、就労支援事業所でできる取り組み

| |
|---|
| 働く意欲 |
| 人柄・コミュニケーションスキル |
| 体調のコンディション |
| ビジネススキル・ビジネスマナー |
| 業務スキル・資格 |

# 個人ワーク

グループワークの意見を参考に、自分でやってみたい取り組みを下のワークシートに記入しましょう。

② 今後取り入れていきたい取り組みや、すぐに取り組めそうなこと

| |
|---|
| 働く意欲 |
| 人柄・コミュニケーションスキル |
| 体調のコンディション |
| ビジネススキル・ビジネスマナー |
| 業務スキル・資格 |

## おわりに

企業により応募者に求めるスキルに違いはありますが、
採用担当者の声を参考にして、日々の取り組みを考えることは大切なことです。
個人ワークでまとめたことを、無理のない範囲で
少しずつ取り組んでいきましょう。

本日の学び・気づき・明日から実践できそうなこと

メモ